

平成 30 年 8 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号: 4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取締役事業グループ管理本部長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

営業外収益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成31年3月期第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年6月30日）において、営業外収益（為替差益）及び特別損失（当社が保有する完全子会社の業績に対する関係会社事業損失引当金の繰入処理及び固定資産の減損損失）の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 為替差益（営業外収益）の内容

為替相場の変動により、平成31年3月期第1四半期連結累計期間において、為替差益2,303千円を営業外収益に計上いたしました。これは主として平成30年6月末時点で当社グループが保有する外貨建資産を同日の為替相場で評価したことで発生した評価益であります。

2. 固定資産の減損損失（特別損失）の内容

当社グループは、事業用資産においてはセグメント及び全社の区分を基準にグルーピングを行っております。その結果、当第1四半期連結累計期間において時価及び収益性の近い将来における回復が見込めないと判断した資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額するため8,255千円を減損損失として特別損失に計上しております。

3. 完全子会社の業績に対する関係会社事業損失引当金の繰入処理(特別損失)の内容

個別決算におきまして、当社の完全子会社である株式会社ネオシルク化粧品の子会社の業績に基づき、同社への投資額を超えて当社が負担することとなる損失見込み額を前連結会計年度に5,157千円を特別損失として計上いたしました。同子会社の当第1四半期連結累計期間の業績に鑑み、追加で3,052千円と同引当金の繰入を行い、特別損失として計上いたしました。

なお、上記の関係会社事業損失引当金繰入額は、今後の同社の業績の状況により変動いたします。また、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

4. 業績に与える影響

当該為替差益の計上及び減損損失の計上において、平成31年3月期の連結業績予想値に修正はありません。また、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上